

～無病息災願う伝統行事～ 「こと八日」各地で開催！

今年度も伝統行事である「こと八日」行事が入山辺各地で開催されました。舟付、中村、奈良尾、上手町、厩所で開催されている伝統行事です。

「こと八日」行事はそれぞれ平成8年に「松本市重要無形民俗文化財」に指定されており、平成12年には「国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されています。

今年度は舟付町会の「こと八日」を深く掘りすべく、町会長さんよりご寄稿いただきました。



館報
いりやま

令和8年3月1日現在

世帯数	821戸
男	838人
女	861人
総人口	1,699人



我舟付のこと八日は、五つのごらがらをします。最初に朝各家、きどさきにて初穀に胡椒をまぜて燃やし、ぬかえぶしをし、厄よけをします。そして、子ども達が朝ついたおもちをあんころもち、きな粉もち等にして、道祖神につけます。

舟付のこと八日

町会長 百瀬 行敏

地域の掲示板



それから公民館にて、年番さんが各家から集められた稲わらで、三本仕立のムカデを編み、こだま様のところに置きます。

その後、子ども達は年番さんとで、村中に引き回し、子ども達がぬかえぶしを、ムカデの尻尾で払い、厄ばらいを行います。

最後に、公民館にて、二つ房がついた数珠を二回まわし、無病息災を祈ります。

三九郎

1月10日～15日の間に各町会で三九郎が行われました。期間中は強風にも見舞われ、やぐらを小さくしたり、中止とする町会も見られました。子どもも参加し、おき火になると繭玉を焼いて食べていました。



入山辺地区民生・児童委員交代



新民生委員・児童委員です

令和7年12月から令和10年11月まで3年間のこのメンバーで入山辺の皆様にお世話になります。よろしくお願ひいたします。

少子化・高齢化・人口減少の波は入山辺により早く訪れ、その影響は様々な所に出ています。

私たちは、皆さんの課題を必要な機関につなげる仕事を通して、地域の皆さんの課題解決に寄与できればと地域の皆さんの所を訪問しています。

困り事がありましたら遠慮なくお声がけをしてください。

会長 朝倉 康直

新しい民生委員・児童委員の皆さん (昨年12月改正)

- ・前田 民江 (三城)
- ・赤羽 正 (北入中部、千手・駒越)
- ・原田 ミツ (橋倉、南方)
- ・鎌倉 律子 (東桐原)
- ・羽山登美子 (大和合・牛立)
- ・大澤 深志 (主任児童委員)

- ・伊藤佳代子 (舟付・宮原)
- ・斉藤 高子 (三反田・奈尾、上手町)
- ・朝倉 康直 (原・厩所、大仏・一の海)
- ・滝沢 雅敬 (西桐原)

我が町会の自慢!

三城町会

標高1400メートル前後に三城町会があります。これだけの高地に一つの町会がある所は少ないと思います。ここは戦後の開拓地で入植時には30戸以上の家がありました。

しかし、今はわずか8戸になってしまいました。

三城はビーナスラインの通り道として春から秋までの間は車やバイクがとて多く走ってきます。

最近村中で、グランピング施設や民泊施設ができ、少しずつ変化してきました。これからどう変わって行くのか、不安と期待でいます。暖かくなったらぜひ、三城に出かけてみて下さい。(公民館長 阿部 米和)



こんな山辺にするじゃん会「ゆめ喫茶」開催



2月17日(火)にこんな山辺にするじゃん会が2年振りに「ゆめ喫茶」を開催しました。59名の方が参加し、楽しいひと時を過ごしました。

